2022年度第４７回全国視覚障害者情報提供施設大会

各会議の主な内容

【大会テーマ】

　「コロナ禍にあっても、サピエのさらなる普及と充実を目指して」

【全体会１】（会場参加・オンライン参加）

　日時：１０月１２日（水）１３：３０～１６：００

　担当：理事会

テーマ：読書から誰ひとり取り残さないバリアフリーの図書館を目指して

　　　　　 ～点字図書館・公共図書館の実践は今～

趣旨：2019年に施行された読書バリアフリー法は、障害の有無にかかわらず全ての国民が等しく読書を通じて文字・活字文化の恵沢を享受することができる社会の実現を目的としている。これは、点字図書館や公共図書館等に対して、読書することに困難をかかえる全ての人が読み得る媒体での資料の提供を求めるものでもある｡

とはいえ、現実は法制定以前と比べて大きく変化しておらず、読書困難者が置かれた環境は改善されていない。実際、サピエ図書館をはじめ、点字図書館や公共図書館等における読書困難者の利用登録数は伸び悩んでいるところである。そこで、読書のバリアフリーに向けて特徴的な取り組みをしている館の報告と、それを受けての参加者全体による協議を通して、今後、すべての読書困難者に開かれた図書館をどのようにして構築していくかを探る。

　内容：１．基調報告

全視情協の「点字図書館等におけるアクセシブルな書籍等の提供体制及び製作状況に関する調査研究事業」報告書（2021年度）や、全国公共図書館協議会の「公立図書館における読書バリアフリーに関する実態調査報告書」（2021年度）などを元に、点字図書館と公共図書館等の「読書バリアフリー」の現状分析と評価を行う。

　　　　２．報告と発表

　　　　（１）公共図書館からの報告（「読書バリアフリー」への取り組み）

　　　　（２）点字図書館からの報告（公共図書館との連携、利用者増、など）

　　　　（３）その他の報告・発表・要望、等

　　　　３．上記発表者等によるシンポジウムと、会場参加者との意見交換

【全体会２】（会場参加・オンライン参加）

　日時：１０月１３日（木）９：３０～１２：００

　担当：点訳委員会、サービス委員会

　テーマ：視覚障害者が必要とする情報をいかに届けるか

～点字・触る文化の価値を改めて考える～

趣旨：近年、中途視覚障害者の増加が顕著になり、録音図書・電子書籍の利用が増えてきています。そうした中、音声コンテンツ・テキストデータがあれば十分ではないかとの考えが、視覚障害関係者内外で広がっているのも事実です。しかし、私たちが改めて考えなければいけないのは「触る文化」としての点字の意義、そして、利用者が必要とするものをきちんと提供できているのかという現実です。今回は、複数ある媒体の中から点字に焦点を当て、利用者・製作者・サービス提供の立場から、真の読書バリアフリー時代の在り方について探ります。

　内容：１．５名程度の発表を予定

　　　　　（例）・視覚障害者が必要とする情報とは何か

・触る文化

・児童、生徒が必要とする点字資料とは？

・言葉と向き合う上での点字の意義（弁論大会など）

・様々な点訳 ～ 教科書、漫画点訳、児童向け雑誌、等 ～

・貸出担当者の現場から

・点字訓練利用者、修了者の声

　　　　　２．発表者と参加者によるディスカッション

【録音担当者研修会】（オンライン参加のみ）

　日時：１０月１８日（火）１３：００～１５：３０

　担当：録音委員会

　テーマ：「製作基準」改訂、ここがポイント！

　　　　　　　～皆でめざそう、音声デイジーデータの質の向上～

趣旨：録音委員会では今年度『「サピエ図書館」登録音声デイジーデータ製作基準』（以下、「製作基準」）の改訂を予定しています。なぜ「製作基準」が設けられているのか、それぞれの項目の意図するところは何か、「製作基準」を正しく理解することが、音声デイジーデータの品質向上の第一歩です。本研修会では、「製作基準」の改訂ポイントを確認しながら、施設・団体としての製作方針の決め方や、ボランティアへの説明の仕方などについて考えます。

　　　　また、同じく今年度全視情協から発行予定の「音訳ボランティア養成講習会テキスト－基礎課程編－」についても紹介します。

　内容：１．見直そう！「サピエ図書館」に登録する音声デイジーデータとは

　　　　　　「サピエ図書館」における音声デイジーデータの定義、製作着手登録、コンテンツ登録について確認します。

２．これが基本！音声デイジーデータの項目と順序

　　　　　　音声デイジーデータの骨格である項目（見出し）のレベル付けや順序について確認します。

３．みんなで守ろう！音声デイジー編集の規則

　　　　　　使いやすいデイジー図書にするために、これだけは守ってほしい編集規則について解説します。

　　　　４．絶対必要！音声デイジーデータの校正

　　　　　　音声デイジーデータの要、校正について再確認するとともに、担当職員の役割、施設・団体の責任について考えます。

　　　５．「音訳ボランティア養成講習会テキスト－基礎課程編－」の発行と利用について

全視情協が発行する音訳ボランティア養成講習会用の最新テキストです。　　　概要と発行の目的、利用方法、従来のマニュアル類との関係について説明します。

【電子書籍担当者研修会】（オンライン参加のみ）

　日時：１０月１９日（水）１３：００～１５：００

　方法：オンライン（Zoom）開催

　担当：電子書籍委員会

　テーマ：“アクセシブルな電子書籍”テキストデイジー製作の手順について

　趣旨：読書バリアフリー法が成立し、公共図書館や出版界でもアクセシブルな電子書籍に注目が集まっています。そこでサピエ図書館へ登録するための“よりアクセシブルな”テキストデイジー製作の手順について学びます。

　内容：サピエ図書館登録「テキストデイジー製作手順書」(現在、委員会にて準備中)の説明、その他

 　　　（以上）